

★★★新製品新技術情報★★★

★プラスチック成形機用洗浄剤「アサクリン™」新シリーズ販売開始（旭化成）

高洗浄性能×低残留性能によりCO2 排出量およびトータルコストの削減に貢献

旭化成株式会社（本社：東京都千代田区、社長：工藤 幸四郎）は、プラスチック成形機用洗浄剤「アサクリン™」の新シリーズに、3 グレードをラインアップし、Rシリーズとして日本国内向けに販売を開始しました。

Rシリーズは、2024 年より、「RXグレード」、「REグレード」の販売を順次開始しており、このたび、新たに「RUグレード」の販売を開始することで、Rシリーズの3 グレードがそろいました。

「アサクリン™」は、プラスチック成形の現場で使用される成形機内部のスクリーやダイなどに残った汚れや樹脂を効率的に洗浄するプラスチック成形機用洗浄剤（パージ剤）です。

今回、販売を開始するRシリーズは、当社既存製品に比べ、洗浄中の熔融状態での流動を制御することで、高洗浄性能や低残留性能を強化し、異物混入による不良や材料置換に伴う時間ロスを削減し、生産性の向上に貢献します。また、CO2 排出量とトータルコストの削減も可能にします。

★PMMA/ABS複層樹脂板「パラフォーミング®」ABSM2 を開発（クラレ）

反射光を低減するマットな面状で、松屋店舗のドライブスルー筐体に採用

株式会社クラレ（本社：東京都千代田区、社長：川原 仁）は、耐候性と強度に優れたPMMAとABSの複層樹脂板（パラフォーミング®）ABSM2 を開発しました。2024 年 8 月に試験販売を開始したところ、今般、株式会社松屋フーズが運営する「松屋」店舗のドライブスルー筐体に採用されました。

近年、さまざまな分野で、軽量化を目的とした金属代替の樹脂の採用が進んでいます。屋外設置の筐体用途の樹脂板には、耐候性と強度に加え、デザイン性の観点からマット調や広幅化が求められています。

本材料は、ABS層にPMMA層を積層することで、成形性と強度に加えて、耐候性を付与しています。面状が平滑なマット色で、熱成形後もマット面状は失われません。屋外設置の際に、太陽光や自動車のヘッドライトの反射光を低減できます。

★複合酸化物系の熱伝導フィラーを開発（大日精化）

盤状タイプと微粒子タイプの低摩耗アルミナ系フィラー

大日精化工業株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：高橋弘二）は、すでに上市しているアルミナ系複合酸化物フィラー「ダイピロキサイド# 7300 シリーズ」に続き、盤状タイプと微粒子タイプを開発しました。今後、熱マネジメントを必要とする製品メーカーへ熱伝導フィラーの新たな選択肢として提案を進めてまいります。

(特徴) アルミナ同等の絶縁性・耐水性等を有しながら、アルミナ対比で高熱伝導・低摩耗であるため、エンブラ等、従来アルミナ系フィラーの使用が難しい樹脂部材への熱伝導性付与を可能とします。

(盤状タイプ) 厚みのある低アスペクト比の板状熱伝導フィラーです。一般的な高アスペクト比の板状フィラーに比べ、高い充填性を有し、成型物においてベース樹脂の性能を高いレベルで維持します。

(微粒子タイプ) サブミクロンサイズの熱伝導フィラーです。微粒子でありながら容易に分散が可能であり、微粒子の特性を活かした最密充填による熱伝導性の向上に寄与します。

★CO₂を原料としたエチレンの製造検討を開始 (AGC)

「カーボン・ネットゼロ」達成に向け、二酸化炭素回収利用技術の研究を進める

AGC株式会社 (本社：東京、社長：平井良典) は、カナダの気候変動関連スタートアップ企業であるCERTsystemsInc.と、電気分解技術を用いた、CO₂を原料としたエチレンの製造検討に関する、共同研究契約を締結しました。

本共同研究では、二酸化炭素回収利用技術の導入により、AGCグループが製造する塩化ビニル樹脂やフッ素樹脂の原料に使用するエチレンを、CO₂由来のエチレンに置き換える検討を行います。

本共同研究では、CERT社の知見を活かし、CO₂電気分解プラントの実用化に向けた検討を実施します。本技術に関するプロセスの検証や事業性評価などを、AGCグループの製造拠点と連携し、進めていく予定です。

★「TAFNEX®CF/PP」と三井化学グループが開発した 3Dプリンティング部品がTOYOTA FORTUNERをベースにしたペースカーに搭載

三井化学株式会社 (本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本修) と三井化学の子会社である株式会社アーク (本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：両角直樹) は、2社で共同開発したダイレクトペレット式 3Dプリンティング部品と、三井化学が開発した一方向性炭素繊維強化ポリプロピレン樹脂シート「TAFNEX®CF/PP」が、TCD ASIA CO.,LTD. (タイ・バンコク、代表取締役社長：河副貴之) が企画したTOYOTA FORTUNERをベースにしたペースカー「TOYOTA Hyper-F CONCEPT」に搭載されました。

今回のモデルでは、TAFNEX®CF/PPはフードエアダクト、フロントバンパーの一部の加飾部品及び空力部品であるアンダーパネルに、ダイレクトペレット式 3Dプリンティング部品はフードエアダクトのベゼル (枠) 部品とリアオーバーフェンダーに搭載されています。

★植物由来のバイオエンブラ「DURABIO™」が米国発モバイルアクセサリ「ポップソケット」のiPhone16用アクセサリに採用 (三菱ケミカルグループ)

三菱ケミカルグループの植物由来のバイオエンジニアリングプラスチックDURABIO™が、グローバルライフ

スタイルブランドのポップソケッツ社（米国コロラド州）のiPhone 16 用グリップ、ケース、ウォレットに採用されました。

本材料は、再生可能な植物由来原料「イソソルバイド」を用いて作られるバイオエンジニアリングプラスチックで、枯渇資源である石油の消費量を削減できるうえに、原料となる植物が成長過程で二酸化炭素を吸収するため、温室効果ガスの低減にも貢献できる素材です。耐衝撃性、耐傷付き性、発色性に優れ、自動車をはじめとしたモビリティの内外装部品、光学・電子デバイス部材、日用雑貨など幅広い分野へ展開が進められています。

ポップソケッツ社は、モバイル用のさまざまなアクセサリに展開し、現在、世界 30 カ国以上で 2 億 8 000 万個以上を販売しています。